

北朝鮮による日本人拉致問題の完全解決を求める意見書

2020年6月5日、全国各地の北朝鮮による日本人拉致被害者ご家族とともに、拉致被害者家族連絡会を結成し、初代代表を務められるなど、拉致問題解決のため全力を尽くしてこられた横田滋氏が逝去された。ここに謹んで哀悼の意を表し、心からご冥福をお祈りする。

拉致事件の発生から40年以上の歳月が経過し、北朝鮮が拉致を認めた日朝首脳会談から17年経ったが、この間北朝鮮は不誠実な対応を続けている。

最近では、2018年6月、2019年2月の二度にわたる米朝首脳会談において、安倍首相の要請に応じて、トランプ米大統領が拉致問題を提起した。また、安倍首相は、我が国自身が解決に主体的に取り組むとして、前提条件なしの日朝首脳会談の実現を目指す旨を表明しているが、解決に向けた具体的な進展はみられていない。

本県においても、政府認定の拉致被害者松本京子さんのほか、拉致された可能性がある特定失踪者として古都瑞子さん、矢倉富康さん、上田英司さん、拉致の可能性を排除できないとされている木町勇人さんがおられる。数十年の幾歳月を重ねる中、ご本人やご家族にはご高齢となられる方も多く、一刻も早い御対面を実現するためのあらゆる努力が求められる。

よって、国においては、米国及び関係各国との緊密な連携を行い、あらゆる手段を通じて日朝首脳会談の実現を模索し、一刻も早い拉致問題の完全解決に全力を尽くすよう強く要請する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和2年6月30日

鳥 取 県 議 会

衆 議 院 議 長
参 議 院 議 長
内 閣 総 理 大 臣
外 務 大 臣
内 閣 官 房 長 官
拉 致 問 題 担 当 大 臣
様